

# アングリカン・ロザリオ

(2009/12/5 初版、2012/10/10 改訂)

## ◆ アングリカン・ロザリオとは

ローマ・カトリックのロザリオの祈り（主の祈り 1 回、アヴェ・マリアの祈り 10 回、栄唱 1 回で一連）と違い、使い方や祈祷文が特に決まっているわけではない。

アングリカン・ロザリオは、沈黙の祈りで注意を集中する助けに用いる。ビーズをリズムをもって繰ることは、心を落ち着かせ、中断なく祈る助けとなる。ビーズは祈った回数を数えるために用いるわけではない。

最初に十字架あるいは「招きのビーズ」に触れ、主の祈り等を祈り、そこから反時計回りに三周する（計百回、祈ることになる）。終わりに「招きのビーズ」で主の祈り等を、そして十字架に触れて「主を賛美します」等と唱えて結ぶ（例は後述）。祈りの後には沈黙の時間を十分に持って、黙想すること、耳を澄ませることが大切である。

1980 年代半ばに、祈祷について研究していた米国聖公会のグループが、正教会のコンボスキニオンやローマ・カトリックのロザリオを参考にし考案した。聖公会だけでなく、プロテスタント諸教会にも広まっている（そのため、クリスチャン・プレア・ビーズ、エキュメニカル・プレア・ビーズ等とも呼ばれている）。「ロザリオ」とは本来は「聖母のバラの花園」を意味するので、アヴェ・マリアの祈り（天使祝詞）を用いない場合はアングリカン・プレアビーズと呼ぶ方がよいかもしれない。

## ◆ ロザリオの象徴的意味

輪は時間を表す。キリストを主として時の中を歩む霊的な巡礼を象徴している。

キリストの地上での生涯を象徴する三十三のビーズの玉がある。四つのグループに分けて七つずつ「ウィーク・ビーズ」があり、その間に一つずつ「十字のビーズ」、そして十字架の手前に「招きのビーズ」がある。

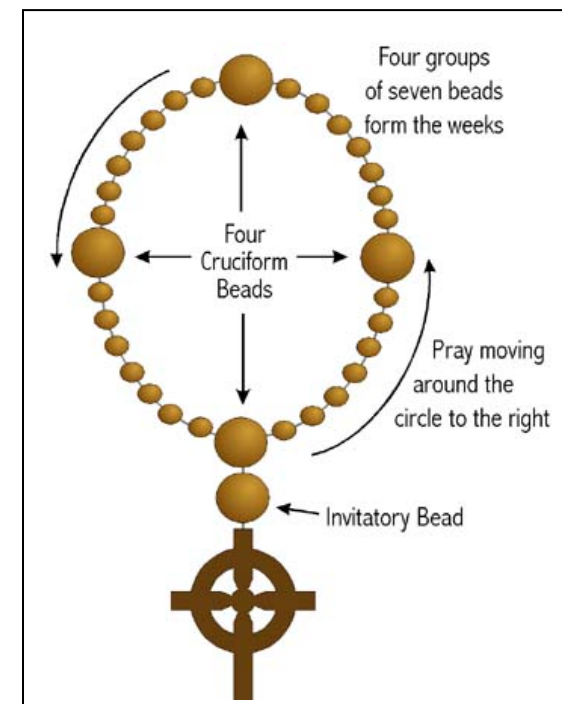
「ウィーク・ビーズ」は、創造の七日間を表し、日々の全てが主に在って恵みの中にあることを表す。

四個の「十字のビーズ」は、主要な徳目、すなわち賢慮、正義、堅忍、克己を表す。また、4 つの季節・方角を表し、神が常に共に居てくださることを表す。

十字架の手前にあるビーズは「招きのビーズ」と呼ばれ、主との親しい交わりを象徴する。

## ◆ 祈り

祈祷文は、主の祈り、その週の特禱、自分で選んだ聖句、讃歌、嘆願、詩編や聖歌の句など、様々に工夫することが考えられる。



◆ アングリカン・ロザリオを用いた祈りの例

(1) 主の賛美

○ 十字架で

唯一の聖なる生ける神が讃えられますように  
栄光が神に代々にありますように  
アーメン

○ 「招きのビーズ」で

神よ、早く来て私をお救いください  
主よ、急ぎ来て私をお救いください  
栄光は、父と子と聖霊に  
初めのように、今も、代々に限りなく  
アーメン

○ 「十字のビーズ」で

さあ見よ、主を讃えよ、主の全ての僕よ  
神の家に立つ者よ、聖なる場所で、あなたの手を上げ、主を讃えよ

○ 「ウィーク・ビーズ」で

私は目を上げて山々を見る  
どこから私の助けは来るのか  
私の助けは主から、  
天と地の造り主から、来る

(2) トリサギオン

○ 十字架で

父と子と聖霊の御名によって  
アーメン

○ 「招きのビーズ」で

神よ、早く来て私をお救いください  
主よ、急ぎ来て私をお救いください  
栄光は、父と子と聖霊に  
初めのように、今も、代々に限りなく  
アーメン

○ 「十字のビーズ」で

聖なる神よ  
あなたは、聖なる、力ある方  
あなたは、聖なる、不滅の方  
どうか私を憐れんでください

○ 「ウィーク・ビーズ」で

主イエス・キリスト、神の御子よ  
罪人である私を憐れんでください

(3) 神の子羊

○ 十字架で

(主の祈り)

○ 「招きのビーズ」で

主よ、私の力、私の贖い主よ

わたしの言葉と思いが御心にかないますように

○ 「十字のビーズ」で

世の罪を除く神の子羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の子羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の子羊よ、主の平和をお与えください

○ 「ウィーク・ビーズ」で

父と子と聖霊なる

全能なる憐れみ深い主よ

私たちを祝福し、養ってください

アーメン

(4) ノリッジのジュリアンの祈り

○ 十字架で

父と子と聖霊の御名によって

アーメン

○ 「招きのビーズ」で

神よ、早く来て私をお救いください

主よ、急ぎ来て私をお救いください

栄光は、父と子と聖霊に

初めのように、今も、代々に限りなく

アーメン

○ 「十字のビーズ」で

善なる神よ、あなたを私にお与えください。

ただあなただけで、私は満足です

あなたの栄光以上に、望むものではありません

そのほかの何を得ても、私は不足を感じるでしょう

ただ、あなたにおいてのみ、私は全てを得るからです

○ 「ウィーク・ビーズ」で

大丈夫。大丈夫。

すべては、よいようになる。

(または)

愛において、主は、主の働きをなされる

愛において、主は、全てを私たちの益になるようにされる

(5) ケルトの祈り

○ 十字架で

父と子と聖霊の御名によって  
アーメン

○ 「招きのビーズ」で

神よ、早く来て私をお救いください  
主よ、急ぎ来て私をお救いください  
栄光は、父と子と聖霊に  
初めのように、今も、代々に限りなく  
アーメン

○ 「十字のビーズ」で

神の瞳が私と共に住まわれますように  
キリストの御足が私を導いてくださいますように  
聖霊の雨が、ゆたかに、おしみなく  
私に降り注ぎますように

○ 「ウィーク・ビーズ」で（※各句をビーズ毎に祈る）

- ・愛と崇拜の心をもって
- ・私を作られた父の前に、私は腰をかがめます
- ・私を救われた子の前に、私は腰をかがめます
- ・私を導かれる聖霊の前に、私は腰をかがめます
- ・高きところにおられる方の御名を賛美します
- ・常におられる方、三一の神
- ・聖なるあなたの前に、私は腰をかがめます

(6) 主イエスよ、来てください

○ 十字架で

賛美、栄光、知恵、感謝、誉れ、力、威力が  
世々限りなくわたしたちの神にありますように  
アーメン

○ 「招きのビーズ」で

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの力  
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる

○ 「十字のビーズ」で

わたしの魂よ、主をたたえよ  
わたしの内にあるものはこぞって、聖なる御名をたたえよ

○ 「ウィーク・ビーズ」で

主イエスよ、おいでください  
私たちを御もとに引き寄せてください

(7) 夕の祈り

○ 十字架で

栄光は、父と子と聖霊に  
初めのように、今も、代々に限りなく  
アーメン

○ 「招きのビーズ」で

主よ、私のくちびるを開いてください  
私の口は、あなたを讃えます

○ 「十字のビーズ」で

主よ、起きている時には私たちを導き  
寝ている時には私たちをお守りください  
起きている時には、キリストと共に心を配り  
寝ている時には、平安に憩うことができますように

○ 「ウィーク・ビーズ」で

神の子羊イエスよ、憐れみをお与えください  
私たちの罪を負われる方イエスよ、憐れみをお与えください  
世の贖い主イエスよ、あなたの平和をお与えください

○ アヴェ・マリアの祈り

アヴェ・マリア 恵みに満ちた方  
主はあなたとともに居られます  
あなたは女のうちに祝福され  
ご胎内の御子<sup>おんこ</sup>イエスも祝福されています  
神の母聖マリア  
わたしたち罪びとのために  
今も死を迎えるときもお祈りください。  
アーメン

○ 聖マリヤへのみ告げの日 特祷

主よ、わたしたちは天の使いのみ告げによって、  
み子イエス・キリストが肉体を受け、人性を取られることを知りました。  
どうかみ恵みをわたしたちに注ぎ、  
み子の十字架と苦しみによって、  
そのよみがえりの栄光に至らせてください。  
父と聖霊と共に一体であって代々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。  
アーメン

※ 日本聖公会祈祷書 246 頁。この祈りはかつて「アンジェラス・ドミニ」と呼ばれ、朝夕の礼拝の時間に合わせて、信徒が各々のいる場所で献げることが勧められた。これに続けてアヴェ・マリアが祈られた。

◆ このアングリカン・ロザリーの説明および祈りの例は、King of Peace Episcopal Church のサイトを参照。

<http://www.kingofpeace.org/prayerbeads.htm>

※ 祈り (5)(6)は、Sister Brigit-Carol, S.D. のサイトを参照。

[www.solitariesofdekoven.org](http://www.solitariesofdekoven.org)

(日本聖公会横浜教区 執事パウロ眞野玄範)